

海山の恋しい季節となりましたが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日ごろより、当院の地域連携にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

緑市民病院放射線科のこと、放射線科医のこと



放射線科診療部長 田内 胤泰

平素より、純正会移行前も、移行後も変わらず、多数の検査依頼を頂き、心から感謝しています。

放射線科医にとって、患者様より直接フィードバックを得られる機会は、貴重な経験であり、毎日新鮮な疑問を抱くことが、勉学の動機となります。その結果、読影の幅を広げ、深みを増すことができればと、日々の診療に励んでいます。

移行に伴い、検査予約を地域連携室にお願いできたことは、これまで以上に諸先生方との連携を円滑にしてくれました。

窓口となって頂いた地域連携のスタッフには、全幅の信頼を置いています。

どうぞ、ご遠慮無く、何なりとお問い合わせください。

また、電子カルテ/PACS 導入によって、キー画像の添付が可能になりました。不出来なレポートを、少しでも補えることを期待しています。

1980年、名古屋市立大学を卒業したのは、大学病院にCTの初号機が導入された年でした。医療にとって革命的機器であり、私にとっても生涯の仕事の根幹となったことは奇遇でした。

初めて緑市民病院に着任したのは、1993年7月、22年前になります。

当時も今も、CT、後に加わるMRの読影が主体であることに変わりありません。

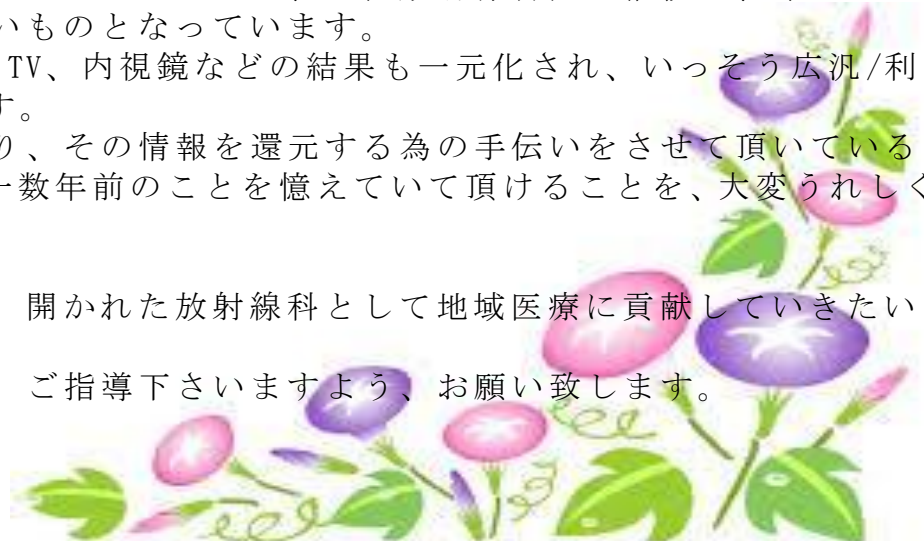
着任早々に始めたレポートのデータベースは、歴代放射線科医が継続し、今では18万件を越え、診療に欠かせないものとなっています。

PACS 導入後は、各科のX線TV、内視鏡などの結果も一元化され、いっそう広汎/利便なものへ成長を始めています。

患者様の貴重な情報を預かり、その情報を還元する為の手伝いをさせて頂いている立場にありますが、患者様が十数年前のことを憶えていて頂けることを、大変うれしく思います。

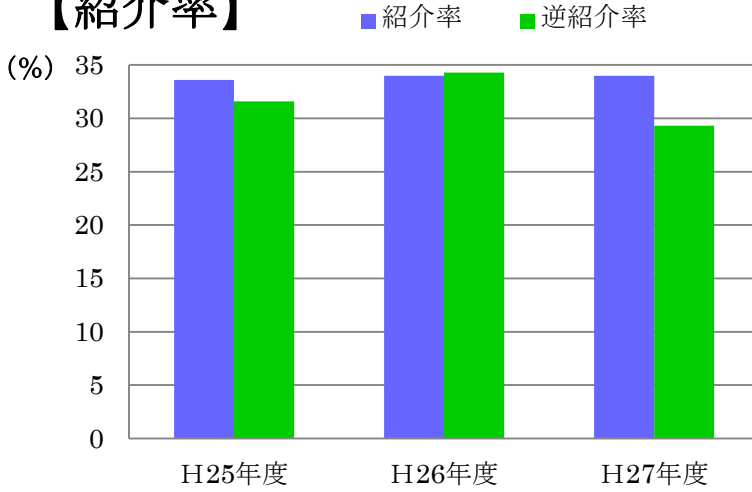
病診連携によって支えられ、開かれた放射線科として地域医療に貢献していきたいと考えています。

今後とも、よろしくご協力、ご指導下さいますよう、お願い致します。



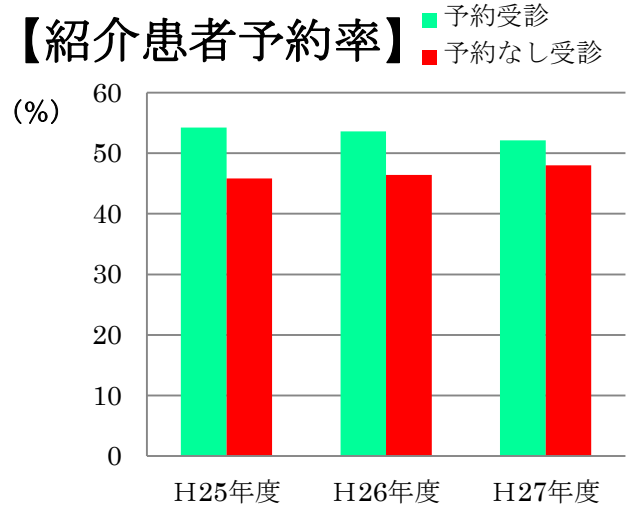


【紹介率】



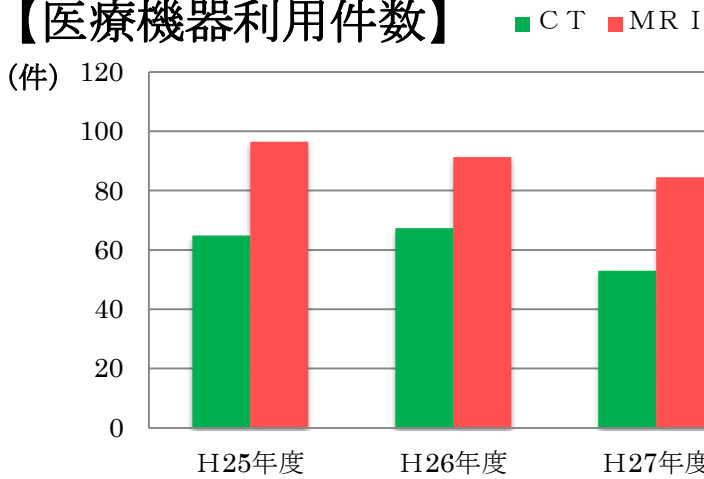
※ 地域医療支援病院の紹介率で計算

【紹介患者予約率】

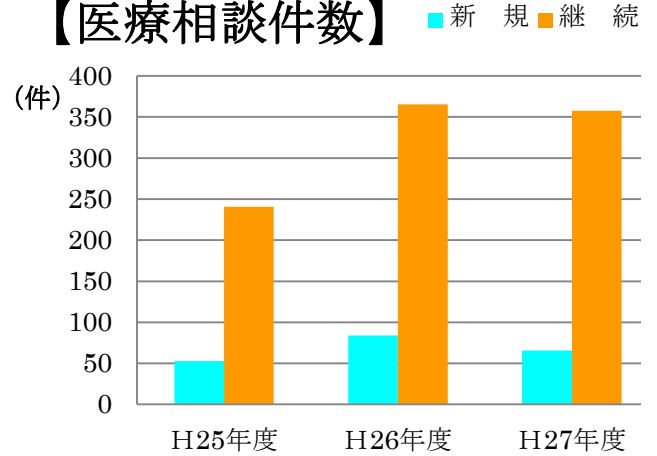


※H27 年 2 月より患者様が電話で直接予約
できるようになりました

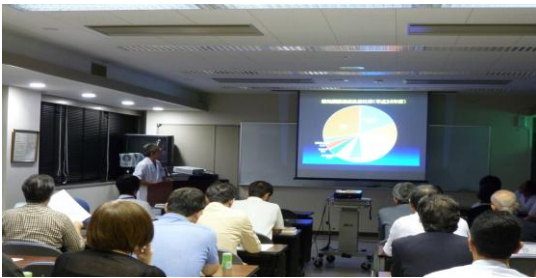
【医療機器利用件数】



【医療相談件数】



◇ 第 67 回病診連携システム合同研究会を開催しました ◇



「医薬品副作用救済制度について」
薬剤科長 徳井健志



「感染対策の現状について」
副看護部長・感染管理認定看護師 帯金里美



「麻酔臨床 この四半世紀の変遷」
麻酔科部長 中央手術部部長 伊藤立志

平成 27 年 6 月 9 日（火）、第 67 回病診連携システム合同研究会を開催いたしました。医師会の先生方、スタッフの方にご参加いただき、職員を含め 50 名以上が聴講いたしました。